

5 個別目標評価シートの見方

(まちづくり編)

基本目標	I	区民が自治の主体として、考え、行動していけるまち
個別目標	2	コミュニティの活性化と地域自治を推進するまち

めざすまちの姿・状態

地域の中でお互いの顔が見える関係が築かれ、子どもから高齢者まで多様な世代が交流・連携・協力し合い、区民が地域において安心した生活を送ることができるまちの実現をめざします。また、区民や地域団体、NPO、事業者などが連携・協力し、主体的に地域の課題に取り組む、個人の自主性・自律性と相互の信頼に基づく、開かれた地域コミュニティの実現をめざします。さらに、地区協議会が中心的役割を担いながら、自らの創意工夫により地域課題を解決し、地域コミュニティが多くの公共的役割を果たす「地域自治のまち」をめざします。

主な課題

- ・ 都市化が進む中で、地域社会の人間関係が希薄になり、地域における相互扶助の機能が低下しています。一方、少子高齢化の急速な進行により、地域課題や区民の需要は多様化・複雑化しており、行政だけで対応することが困難になっています。地域における課題はできる限り地域で解決していくためのしくみづくりが一層求められています。
- ・ 区政への参画と自らの力で地域課題を解決する地域自治を展開していくために創られた地区協議会に対して、十分な活動ができるように支援していくことが求められています。
- ・ 町会・自治会や地区協議会といったコミュニティ活動、地域の見守りや環境改善といった社会貢献活動、生き生きとした生涯を送るための生涯学習活動、といった地域における活動を活発にするためには、これを支える人材の育成が重要です。
- ・ 地域団体の活動・交流が一層盛んになるように、地域のコミュニティづくりの拠点として、地域センターの機能強化が求められています。

行政の主な役割

コミュニティ活動への意識啓発　コミュニティ活動の担い手となる人材の育成支援　コミュニティ活動拠点の整備と利用促進
町会・自治会、NPO団体等の連携支援　地区協議会の条例設置化　地区協議会への権限および財源の付与

基本的考え方

- ・ 地域における人々の交流や連携を深め、地区協議会を中心に、地域の様々な課題を地域自らの力で解決していけるよう、地区協議会の一層の充実を支援します。そのため、条例により地区協議会の位置づけを明確化するとともに、地域の実情を踏まえて課題解決に取り組めるように、その権限を明確にして、地域課題に柔軟に対応できる財源が付与できるしくみを検討していきます。
- ・ 地域の個性や特色を活かしたコミュニティづくりを進め、地域コミュニティに参加する楽しさや魅力を高めていきます。また、コミュニティ活動の中心を担っていく人材の育成を図っていきます。
- ・ 地域活動に参加したいと考えている団塊の世代等のシニア層に対し、多様な地域活動への円滑な参加やこれまでの知識や経験を活かして活躍するためのきっかけをつくります。また、生涯学習活動を支える、指導者・コーディネーターなどを育成していきます。
- ・ 地域におけるコミュニティ活動の拠点として、地域センターの利用促進を図るとともに、地域の活動団体等の交流支援を強化します。さらに、図書館や学校などを新たなコミュニティ活動の拠点としてその充実を図ります。

主な取組み

「町会・自治会活性化への支援」「地区協議会の位置づけの明確化と運営の充実」「地区協議会活動への助成」「地域活動を支える担い手の発掘と人材の育成」「生涯現役塾」「生涯学習指導者・支援者バンクの充実」

成果指標

指標名	指標の定義	基準	目標
		19年度	29年度
1 町会・自治会の加入率	町会・自治会の加入世帯率	46.18% (平成18年度)	60%
2 地域コミュニティ活動への参加率	地域の中でコミュニティ活動を行っている人の割合	46.0%	60%
3 地域センターの利用率	地域センター利用の割合	64.5% (平成18年度8地域センター平均利用率)	80%

成果指標
成果を計る測定可能な指標

達成状況

	単位	20年度 (現状)	21年度 (目標)	22年度 (目標)	23年度 (目標)	20~23年度	備考
指標1	目標値1①	48.38	50.58	52.78	55	55	
	実績1②	46.45					
	③=②/①	96.0%					
指標2	目標値1①	47.5	49.0	50.5	52.0	52.0	
	実績1②	45.4					
	③=②/①	95.6%					
指標3	目標値1①	66.5	68.0	69.5	71.0	71.0	
	実績1②	61.8					
	③=②/①	92.9%					

評価

視点	評価区分	評価の理由
①サービスの負担と担い手	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善が必要である	町会・自治会活性化や地区協議会などの周知に係る印刷経費や地区協議会補助金など活動の手段となる経費は行政が負担するものですが、活動は住民によるボランティアによって行われています。
②適切な目標設定	<input type="checkbox"/> 適切である <input checked="" type="checkbox"/> 改善が必要である	町会・自治会の加入率と地域センターの利用率は、地域活動への参加という観点から、適切です。地域コミュニティ活動への参加率は、イベントの参加を対象にするかなど、地域コミュニティ活動の範囲についての検討が必要です。
③効果的・効率的な視点	<input checked="" type="checkbox"/> 効果的・効率的である <input type="checkbox"/> 改善が必要である	町会・自治会の活性化や地区協議会の課題解決に向けた取り組みは、地域活動が公共的役割を果たしており効果的です。また、活動はボランティアであるため効果的といえます。
④目的(目標水準)の達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 達成度が高い <input type="checkbox"/> 達成度が低い	すべての目標の達成が90%を越え、地域におけるコミュニティの活性化が図られたといえます。
総合評価	<input type="checkbox"/> 計画以上に進んでいる <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおりに進んでいる <input type="checkbox"/> 計画どおりに進んでいない	町会・自治会の活性化や地区協議会の課題解決に向けた事業を支援するとともに、設立3年目を迎えた地区協議会の認知度を高める取り組みなど、地域におけるコミュニティ活動を推進しました。

サービスの負担と担い手の観点から分類し、適正な対応がとられているか

適切な目標設定(区民ニーズを踏まえた目的・目標になっているか)指標は適切か

費用対効果という面から効果的・効率的に行われているか

目的や意図する成果に対してそれが達成できているか

事業の目的や意図する成果に対して達成できているか

進捗状況・今後の取組み方針

20年度状況	状況認識(課題)	活動の拠点となる施設については、戸塚地区を残すのみと、充実が図られてきました。地区協議会の地域課題解決に向けた事業も開始され、その活動を広く地域に周知していくことが問われています。また、地域活動の主体となる町会・自治会を活性化させ加入を促進するとともに、地域活動の主体となる地域の人材を育成することが求められています。
	改革方針	戸塚地域センターを着工し、コミュニティの拠点づくりを推進します。また、地区協議会を広く地域に周知するための広報活動や町会・自治会の加入率を高めるための活動を支援します。その活動を担う人材を育成する講座を企画し、地域活動を担う人材づくりを進めます。さらに、地区協議会と地域センター管理運営委員会の合同役員会を開催するなど、地域団体の連携を推進します。
21年度実績	20年度実績	7月に戸塚地域センターを着工することができました。地区協議会を周知するため、新聞折り込みのタブロイド判を発行するとともに、区報にも2回にわたり活動紹介しました。町会・自治会の加入率が低いマンション住民に対して加入促進パンフを作成、配布し、さらに建設相談の段階から町会・自治会長と連絡をとるしくみを作り支援しました。また、地域人材塾を開催し、多くの人材を育成することができました。合同役員会は2地区において開催し、連携を進めることができました。
	課題	区民意識調査では、周知活動を行う前の調査ではありますが、地区協議会の認知度は1割台半ばとなっており、更なる周知が必要です。(仮称)自治基本条例で地区協議会の位置づけを規定し、権限及び財源の付与をどのように行うかなどの議論を支援していくことが求められています。
	改革方針	現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 手段改善 <input type="checkbox"/> 事業縮小 <input type="checkbox"/> 事業拡大 <input type="checkbox"/> 事業統合 <input type="checkbox"/> 休廃止 <input type="checkbox"/> その他(制度改正等)
21年度評価	内容	多様化・複雑化する区民ニーズへの対応や、地域活動の拠点整備など地域コミュニティの基盤づくりを推進してきました。今後も、活動の中心となる町会・自治会をはじめとする団体等や地区協議会の位置づけの明確化等住民の自治意識の高揚を図り地域コミュニティの活性化を推進していきます。

状況認識
前々年度実績を踏まえた昨年度の課題

改革方針
前々年度実績を踏まえた、昨年度の改革方針

達成状況
昨年度の取組み実績・成果

事業に関する検討課題
昨年度の実績を踏まえた翌年度の課題

改革方針
事業に関する検討課題を踏まえた事業の方向性と、翌年度事業へのつながり(組織目標と関連)

【計画以上】
計画以上に進んでいる
【計画どおり】
計画どおりに進んでいる
【計画どおりでない】
計画どおりに進んでいない

個別目標を構成する計画事業

計画事業名	総合評価	方向性	頁	計画事業名	総合評価	方向性	頁
4 町会・自治会及び地区協議会活動への支援	計画どおり	継続		6 地域センターの整備(戸塚地区)	計画どおり	継続	
5 地域を担う人材の育成と活用	計画どおり	継続					

【継続】現状のまま継続
【改善】手段改善
【縮小】事業縮小
【拡大】事業拡大
【統合】事業統合
【休廃止】休廃止
【その他】その他(制度改正等)